



# 来場者全員が楽しめる祭典

今年で22回目となる技能競技大会「技能オリンピック予選会」が6月1日によみうりランド(東京都稲城市)の駐車場で開催!たくさんの学生や一般の方々にご来場いただき、ものづくりや建設業の魅力を伝える機会となりました。



射的やわたあめで大人気!向友会ブース



子ども大人も夢中の重機体験



学生は学校ごとに担当がついて説明

## 座談会

来場者数500名 超えの名物イベント、  
“全員が楽しめる空間”に  
こだわった環境づくり

**山** : 今年も学生と一般の方々で大賑わいでしたね!建設の知識が全くない方々にも楽しんでもらうために、2人はブースづくりにどんな工夫をしたんですか?

**櫻井** : 私は高校生や専門学生、大学生に建設の魅力を伝える建設業ブースを担当したのですが、『どうしたら学生がわくわくするか!』を意識しました。たとえば、装飾は“建設感”というよりは“お祭り感”を出したり、学生が目にする資料はイラストを多めにしたり。技能オリンピックの競技が、実際の仕事では誰が行い、どんな仕事をして活躍しているのかが分かりやすいように資料の見せ方も工夫しました。

**浅原** : そうそう、“お祭り感”は統一して出そう!って決めたんですよ。私はイベントに興味を持ってくださった方々や子どもたちが遊べる向友会\*ブースを担当しました。建設業のことを知らない方々が遊びながら自然と“ものづくり”に触れられるように、参加者全員がお菓子詰め合わせをもらえるシールラリーを実施しました。シールを集めていくと、射的と綿あめがある屋台や会場を制覇できる仕組みは向友会メンバー全員で考えました。

**山** : たしかに、あえて“建設感”を出さないことで取っつきやすく、2つとも人気のブースになったよね。

**櫻井** : お互い当日より準備が大変だったよね!装飾もお菓子もどんなものが良いか結構悩んだよね(笑)。

**浅原** : 悩んだね〜、お菓子も200個以上、みんなで手を止めず詰めたよ(笑)。山部長は何が1番大変でしたか?

**山** : 私は準備も当日も大変でしたね!準備では学生の参加人数がギリギリまで確定しないこともあり、スタッフの配役をどうしようか悩みました。当日は時間管理が大変でしたね。学生によってどこをメインで見たいかも変わるので、“回りきれない”なんてことがないように気をつけました。

**浅原** : たしかにどっちも大変そうですね…時間は限られてるけど全部を体験させてあげたいですもんね。

**櫻井** : 私はハーネス体験を建設業ブースでやっていたんですけど、「え〜!凄い!ハーネスってこんなに重いんだ!」ってはいやいでくれる子が多くて、建設業を身近に感じるののできるいいアイテムになったと思います。

**山** : 総じて500名を超える来場者が楽しめる良いブースだったので本当に良かったと思います。

**浅原** : ほんとにそうですね!大の大人たちが本気でわくわくを考えていた会議は結構楽しかったです(笑)。

**櫻井** : 来年もわくわくの輪が私たちから学生に広がるものを作りたいですね!

**山** : 技能オリンピックを通じて、早いうちから建設業に興味を持ち、工業高校や専門や大学の建築学科・土木学科を目指す学生が増えてくれたら嬉しいです。

人材開発部 人事担当部長  
**山 寛**(勤続34年)  
安田学園高校 卒

人材開発部 人事課  
**櫻井 理花**(勤続2年)  
跡見学園女子大学 卒

経営企画部 広報課  
**浅原 梨菜**(勤続2年)  
東京女子大学 卒

技能オリンピック  
予選会  
ダイジェスト動画

